

おおたま

2021

No. 120

令和3年2月発行



子どもは風の子、元気な子



the most beautiful
villages
in japan

大玉村は「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。

住民の声を村政に 「村民の声を聴く会」開催	……………	P 2～P 5
12月定例会開催	……………	P 6～P 8
一般質問 ここが聞きたい！ 9人の議員が登壇	……………	P 9～P 17
常任委員会が取り組む調査	……………	P 18～P 19
目指せ！！健康長寿日本一おおたま	……………	P 20



昼の部

住民の声を村政に

大玉村議会「村民の声を聴く会」開催

11月5日(木)に大玉村農村環境改善センターにて、「村民の声を聴く会」を昼と夜の2回に分けて開催しました。昼の部は16名、夜の部は20名の方に参加いただきました。

今回は「これからの村づくりを考える」をテーマに、1 農業・商工業 2 子育て支援 3 健康づくり 4 その他 5 議員に求めるものについて、いろいろな視点から意見や要望をいただきました。

今後は、意見や要望が村政にどのようにつながるか議会もしっかり議論し、議員一丸となり常任委員会の調査研究などの議会活動に取り組んでいきます。

貴重なご意見は、議会広報編集特別委員会が集約し、議会活性化検討会や議会全員協議会で精査しました。

「村民の声を聴く会」の意見は次のとおりです。主な意見を抜粋し掲載します。他のご意見は大玉村議会のホームページをご覧ください。

主な意見

1 農業・商工業

- ① 農業後継者がいない状況が進んでいる。農業に関心のある人を引き込む方策を求める。
- ② 耕作放棄地を住民や移住者等に農地として貸し出す仕組みはあるか。
- ③ 村産米の独自の売れる販売方法を考えて欲しい。
- ④ 直売所の商品が生産者にとって平等に売れるように直売所に提案して欲しい。
- ⑤ 今、村内にある商店の支援に力を入れて欲しい。
- ⑥ 交通弱者への買い物支援をお願いしたい。

2 子育て支援

- ① 保育所民営化について、「広報おたま」だけでは理解できないという声がある。具体的な内容をもう少し説明して欲しい。
- ② 育児休業中に、上の子どもを保育所に預けることができない状況であるが、一時預かりなどで対応できないか。対応できることを公式ホームページで知らせて欲しい。
- ③ 村内に遊具のある大きな公園が欲しい。
- ④ 「まぐらカフェ」を大山公民館ではなく、改善センターや保健センターで実施できないか。また、滑り台やボールプール、スポンジブロック等の遊具を設置して欲しい。
- ⑤ 育休中の母親は孤立しがちなので、乳幼児向けの親子参加イベントを定期的に開催して欲しい。
- ⑥ 県道大橋五百川停車場線の玉井小学校から寺久根にかけての通学路に歩道を設置して欲しい。村が設置できないのか。



夜の部

⑦ 公民館で行われている「放課後子ども教室」に参加する児童が増えている。より深い内容の活動ができるようにコーディネーターの増員を求める。

⑧ 保育所だけでなく幼稚園や小学校も教職員が働きやすい環境を整え、自分の子どもを通わせたいくなるような学校にして欲しい。

3 健康づくり

① 大玉村健康ポイント手帳は、ポケットに入らず使いにくい。スマートフォンアプリを活用した仕組みが考えられないか。

② コロナ禍で、医療機関の受診抑制の報道を耳にする。住民の受診状況を把握し、対策を進めて欲しい。

③ あいさつを交わせる大玉村独自のウォーキングコースを作って欲しい。

④ 村民テニスコートの利用は、ほぼ村外の人なので村民の利用を高める工夫が必要ではないか。村民プールを健康づくりに結びつける努力をして欲しい。

4 その他

① 移住された方と従来から住んでいる方の話し合いの場を設け、より開かれた地域社会を目指してはどうか。

② 小高倉地区の環境問題について、研究機関と協力し村全体で考えて欲しい。

③ 林業の再生に向けた調査研究と整備計画が必要である。

④ 大作田1号線の災害の片づけはいつになるのか。

⑤ 村内には戊辰戦争の史跡が多くあるので、わかりやすい案内板を設置して欲しい。

⑥ 大山公民館にWiFiを設置して欲しい。

⑦ 公民館の利用予約をインターネットでできるようにして欲しい。

⑧ 公民館にエレベーターがなく、障がい者にとっては大変だと思つ。エレベーターを設置する予定はあるのか。

貴重な意見を届ける

12月14日(月)に、議長、副議長、3委員長が、「村民の声を聴く会」の意見要望を、村長、副村長に提出しました。「村民の皆さまの貴重なご意見です。皆さまの声を受け止め、施策に反映し取り組んでいただきたい。」と村長に求めました。

村長からは「これまでに取り組んでいる事業をさらに進め、皆さまにご理解いただけるよう努めたい。できる限り村政に反映するために財源確保も含め、鋭意検討していきたい。」と回答がありました。



議会に求める

「村民の声を聴く会」の意見

「村民の声を聴く会」では、議員に求めるさまざまな意見をいただきました。

今後どのように議会で取り組んでいくか議会全体で議論していきます。



主な意見

保育所の民営化

- ① 保育所民営化による国県からの補助を活用し、保育士の処遇改善に生かす議論をして欲しい。

小高倉地区の環境問題

- ② 小高倉地区の環境問題について議会として現状をどのように認識し動いてきたか。研究機関と協力し、村全体で考えられるような仕組みを議会も考えて欲しい。他の地区にも議員が足を運んで欲しい。

森林の再生

- ③ 森林の再生に向けた調査研究と整備計画の必要性や森林管理署の役割を問題提起し、議会で取り組むことを要望する。

耕作放棄地

- ④ 耕作放棄地の現状をどう捉え、議会はどうか考えるか。

人・農地プラン

- ⑤ 人・農地プランについて、議会の考えを検討してお聞かせ願いたい。

通学路の歩道設置

- ⑥ 県道大橋五百川停車場線の玉井小学校から寺久根の通学路の歩道設置について、議会でも現場を視察するなりして対処してもらいたい。

議会のライブ中継・録画配信

- ⑦ 議会を動画で配信できないか。議会だよりにQRコードをつけて、動画で議会の様子が見られるようにして欲しい。

議員定数

- ⑧ 議員定数12名が適正なのか議論して欲しい。

議会の役割・議員としての姿勢

- ⑨ 議決機関としてのチェック機能を責任持って果たして欲しい。

- ⑩ 各議員が村民に自分の考えを聞いてもらう努力が必要である。

- ⑪ 社会、障がい、農業、環境問題などについて議会や行政が積極的に情報誌などで情報収集しているのか。

議会全体研修

- ⑫ 平成31年2月に議会全体研修が行われたが、議会全体研修の成果を生かすならば任期4年の2年目か3年目に実施すべきではないか。

村民の声を聴く会の進め方

- ⑬ 課題は年代や立場によって住民それぞれ違う。テーマを絞るなどして、今後回数を重ねてさらに発展させてほしい。分科会に分かれて細かなテーマごとに話し合う方がより多く意見が出ると思う。

議会は どう動いてきたか これから どう動くか

保育所の民営化

6月19日の議会全員協議会で大玉村保育所の民営化計画について村から説明を受けました。

8月28日に「公私連携型保育所」による民営化の先進地である鏡石町で保育所民営化の経緯や現状の調査を行いました。

民営化後も保育の質の向上や保育士の処遇改善に注視していきます。



鏡石町（8月28日）

小高倉地区の環境問題

平成28年2月からこれまで6回にわたり小高倉地区の環境を調査してきました。村の担当部署も同行し、担当からは県北家畜保健衛生所や県北振興局、安達農業普及所の定期的な立ち入り調査の概要の報告を受けています。今後とも引き続き粘り強く対策を求めていきます。



小高倉地区環境調査（7月21日）

森林の再生

森林が村の面積の6割を占める本村において、防災や水源涵養の機能、生物多様性の保全など森林の果たす役割は大きいと認識しています。議会としても調査研究に取り組んでいきます。

耕作放棄地、人・農地プラン

農業の担い手の高齢化や後継者不足により増え続ける耕作放棄地は喫緊の課題です。1月21日に議員勉強会を開催し、耕作放棄地の現状や人・農地プランの実質化について産業課・農業委員会の職員から説明を受けた後、議員間で意見を交換しました。



議員勉強会（1月21日）

通学路の歩道設置

議会では、県道大橋五百川停車場線の玉井小學校から寺久根までの通学路の歩道設置をこれまで県に要望してきました。1月21日に下校する子どもたちの現況を調査しました。子どもたちの命を守るために一日も早い通学路の歩道設置を村と一緒に引き続き県に求めていきます。



通学路の現況調査（1月21日）

議会のライブ中継・録画配信

費用も含めて村と検討していきます。議会の活動が見えるように努めていきます。

議員定数

ご意見を広く伺いながら、議員間で議論する機会を設けていきます。

議会の役割・議員としての姿勢

一昨年の12月に議会活性化検討会を立ち上げ、議員の資質の向上を図るため議員勉強会やセミナーを開催してきました。今後も地域の身近な課題に取り組むために研さんをしていきます。

令和2年1月21日(火) 安達地方仮設焼却施設視察

1月30日(木) 福島圏域広域連携セミナー

3月19日(木) 福祉センターさくら屋内運動場改修工事現場視察

7月21日(火) 小高倉地区環境調査

8月28日(金) 保育所民営化に関する調査

9月18日(金) 地方自治研究交流セミナー(第1回)

10月8日(木) 福島県町村議会議員研修会

10月20日(火) 地方自治研究交流セミナー(第2回)

11月13日(金) 地方自治研究交流セミナー(第3回)

11月20日(金) 議員勉強会

12月21日(月) 議員勉強会

令和3年1月21日(木) 議員勉強会・通学路の現況調査

議会全体研修

今後とも成果を生かせるような研修のあり方を検討していきます。

村民の声を聴く会の進め方

ご意見を参考に次年度に生かしていきます。

対策に要する経費など可決

一般会計補正 5,863万円

12月定例会開催

12月定例会は、8日から11日までの4日間の会期で開かれました。内容は、村長提出案件11件（条例制定1件、条例改正3件、補正予算5件、人事案件1件、村道路線認定1件）および議員発議1件、合わせて12件が提出され、審議した結果、原案どおり可決しました。なお、請願は1件提出され、審査の結果は8ページのとおりです。

令和2年度 12月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	5,863万円	60億9,190万円
国民健康保険特別会計	63万円	9億2,250万円
農業集落排水事業特別会計	—	1億2,802万円
介護保険特別特会【保険事業勘定】	574万円	7億7,602万円
水道事業会計【収益的支出】	—	1億6,524万円

※農業集落排水事業特別会計、水道事業会計【収益的支出】は、予備費等の歳出予算額を調整し、予算総額は増減なし。

一般会計

【歳出 主なもの】

○定住促進住宅団地造成事業補助	400万円
○災害備蓄用プレハブ倉庫設置事業	300万円
○高齢者インフルエンザワクチン接種無料化事業	225万円
○安達地区きゅうり機械共選施設整備補助事業	406万円
○イノシシ捕獲用くくりわな購入	160万円
○飲食店等応援前払利用券発行支援事業交付金	915万円
○アットホームおおたま指定管理業務委託料	2,500万円
○小中学校雪上体育体験事業	439万円

新型コロナウイルス感染症



11月臨時会 議決結果

議案番号	議案名	結果
議案第73号	大玉村議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第74号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第75号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第76号	大玉村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決

12月定例会 議決結果

議案番号	議案名	結果
議案第77号	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の制定について	原案可決
議案第78号	大玉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第79号	大玉村介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第80号	大玉村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第81号	令和2年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第82号	令和2年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第83号	令和2年度大玉村農業集落排水事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第84号	令和2年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第85号	令和2年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第86号	村道路線の認定について	原案可決
議案第87号	大玉村監査委員の選任について	同意

議会が注目する決算

アットホームおおたま
指定管理業務委託料

補正額 2500万円

問 補正理由と金額の
根拠は。

答 新型コロナウイルス
感染症拡大の影響
による減収について
協定に基づき指定管
理料を増額する。上
半期が約1100万
円、下半期が約14
00万円の減収見込
みとなっている。

人事案件

大玉村監査委員の同意

現職の甲野藤健一氏
(大山字上ノ台)の再任
について同意した。
任期は、令和3年1月
21日から令和7年1月20
日までの4年間。

12月定例会に提出された請願

件名	提出者	紹介議員	付託委員会	審査結果
「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書の提出を求める請願書	二本松市亀谷 福島県教職員組合安達支部 支部長 高橋 尚人	武田 悦子	総務文教	採 択

議員発議 意見書1件を提出

意見書	提出先
国の制度として「20人程度学級」を展望した少人数学級の実現を要望する意見書	内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣



12月定例会では10日、11日の2日間にわたり、9人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に9ページから17ページです。

わたなべ けいこ 渡邊 啓子	1. 読書活動の推進について 2. 子どもの遊び場の確保を求める	9ページ
おしやま よしのり 押山 義則	1. 残土条例の制定の必要性 2. 期待される農業振興公社の設立を！	10ページ
さいとう しんいち 斎藤 信一	1. コミュニティー支援について	11ページ
たけだ えつこ 武田 悦子	1. 子育て支援のさらなる充実を求める 2. 高齢者が安心して暮らせる支援の充実を	12ページ
すずき やすひろ 鈴木 康広	1. 学校でのコロナ感染症対策を伺う 2. 修学旅行などの実施状況は	13ページ
ほんた やすお 本多 保夫	1. 指定文化財の管理は 2. 竹ノ内板倉線の道路拡幅計画の考えは	14ページ
すどう ぐんぞう 須藤 軍蔵	1. 原発汚染水の海洋放出について 2. 美しい村の治山・治水について	15ページ
まつもと のぼる 松本 昇	1. アットホームおおたまや直売所等の経営状況を伺う 2. イノシシ被害対策の実態を伺う	16ページ
きくち あつのり 菊地 厚徳	1. 村の林業を SDGs から考える 2. パソコンの授業で教育はどう変わるのか	17ページ

一般質問
9人の議員が登壇
ここが聞きたい!!

渡邊啓子議員



読書活動の推進について

質問趣旨

「大玉村子ども読書活動推進計画」が今年度末で期間満了となる。これまでの歩みと今後の取り組みを問う。

渡邊 子どもの読書活動への取り組みについて伺う。

教育長 乳幼児期のブックスタート事業、おはなし会、学校支援ボランティアによる読み聞かせを行っている。また学校への司書の派遣などにより、図書室の環境整備を行っている。平成28年度からは「家族読書おススメ図書100選」を作成し、家族で読書に親しむことを奨励している。今後は、電子ブック等も含め推進計画に生かしていきたいと考えている。

教育部長 移動図書館の果たす役割は大きい。車両を整備しながら運行を継続したい。月2回の運行は、運行に伴う業務も多いことから難しい。

渡邊 午後5時半以降のあたたらふるさとホールの入館者が少ない。冬期間だけでも閉館時間の繰り上げを考えてもよいのではないかと。

教育部長 利用者の要望により午前9時半から午後6時半とした経緯がある。今後も現状を維持したい。

渡邊 いつでも返却ができるように、返却用ブックポストを設置してはどうか。

教育部長 設置を検討していきたい。



移動図書館「あたたら号」

子どもの遊び場の確保を求める

質問趣旨

子どもたちの健やかな成長のために、遊び場の確保など環境面での整備を進めていくことが必要だ。

渡邊 屋内運動場や保健センターのホールを週に1回でも開放することはできないか。また、すべり台等の遊具を置くことを望む。

教育部長 屋内運動場は、利用団体との調整が必要になる。また運動場はサンドフィルコートのため、遊具の清掃や消毒に課題がある。今後検討していきたい。

住民福祉部長 保健センターのホールは各種診療での利用や併設される診療室の利用がある。昨今の感染防止に対する特段の配慮が必要な場所であるため開放は難しい。

渡邊 村内に安全な遊具が整備された大きな公園の設置を強く求める。

住民福祉部長 全国的に管理不十分な公園での事故等が多発した事例があり、本村でもすべり台

やブランコなどを撤去した例がある。有利な補助や財源もないことから、現在のところでは遊具つき公園の設置は難しいと認識している。

渡邊 子育て支援に力を入れていく村として、村外の方も遊びに来たくなるような魅力ある公園の設置を近い将来に期待する。村長の考えを問う。

村長 必要不可欠な施設であると認識している。来年度からの第五次大玉村総合振興計画にしっかりと位置づけをしていきたい。



子どもが安心して遊べる場所を



残土条例の制定の必要性

質問趣旨

地域の安心安全、景観保全の観点から、玉井字又兵衛山地内の建設残土処理の実態と対応を伺う。

玉井字又兵衛山地内は、大玉村開発指導要綱を定めているが、本件が適用対象に当たらないことから、農地法の他、関係法令を根拠に指導を行っている。地域の安心安全の確保は重視しており、重要な問

押し山 農地改良と称した建設残土処分の実態を踏まえ、盛り土流出の危険性などや地域の安心安全、景観保護の観点から、行政の対応を伺う。

農業委員会事務局長

平成24年に農地の利便性向上を図るための盛り土工事として農地形状改良行為の申請がなされた。その後当初計画していた事業期間では完了の見込みがないことから、一時転用として申請がなされ許可となつて



建設残土が高く盛られた農地

題であると認識している。

押し山 建設残土処分の実態は明らかであり、このようなことが起きないように、条例の制定は考えられないか。

農業委員会事務局長

福島県では建設残土処分に対する土砂条例をまだ制定していない状況である。今後、村内における状況あるいは県の動向等を十分に注意しながら条例制定について検討していきたい。

期待される農業振興公社の設立を！

質問趣旨

基幹産業を農業とする大玉村にとって公社の設立は村の産業振興に不可欠だ。構想を伺う。

押し山

公社の設立は、農業後継者問題などの課題が山積するなか、農業や観光振興に向けて大きな意義があり、試金石となる。設立目的と概要を伺う。

産業建設部長

担い手農家の補完と協調や育成をし、新規就農者を受け入れ、地域に根差し農業を支える拠点という位置づけで、農業・林業・畜産の振興に寄与することを目的としている。種苗の生産販売や担い手農家への農地集積などが必要との意見がある。検討委員会では協議中であるが、

公社では現状を踏まえながら、新たな作物に取り組みなど進歩する本村農業の拠点になるような事業を進めていきたい。

押し山

公社の設立にはJAなどの関係団体との協力が不可欠ではない

か。また村内の建設や環境衛生に携わる企業や農業法人、さらには学術機関や地域金融機関などに主体的に参加していただくことで、人材の確保や事業展開が有利に図れる

考えもある。また福祉と協調した農福連携の充実なども含め、公社設立での企業参加の可能性を伺う。

村長

農業・福祉・学術・官公庁・金融・民間が連携し進めていくような新しいスタイルを考えている。5年、10年後の大玉村の農業・畜産・林業の姿を想定し、しっかりとスケジュールを決め、目標を定めて進めていきたい。



育苗センター

他に次の質問がありました。

・歴史文化遺産の研究と魅力の発信は

斎藤信一 議員



コミュニティ支援について

質問趣旨

住民が快適に生活していくために、隣組へのさらなる支援が必要と考える。

斎藤 村で新生活を始めた方の悩み等をどの程度把握し対応しているのか伺う。

総務部長 個々の悩みを把握するのは困難である。行政区や組に関する相談は、行政が関与すべきではないこともある。地域の方とよくコミュニケーションを取っていたきたい旨の対応を続けていきたい。

住民福祉部長 転入届を出された際に組への加入の重要性を伝え、ゴミの出し方や検診等のお知らせ、該当する行政区長の連絡先を配付している。

斎藤 村が行政区だけでなく組まで案内できないのか。

総務部長 転入者がこちらの区や組に属するかどうか判断できない場合、区長、組長同士で協議していただくことから、区長まで案内している。

斎藤 移住された方に対する既存の住民の悩みとして、ゴミステーションの間



ゴミステーション

題、消防団などへの加入、隣組や地元行事への参加、野焼きや肥料散布などの苦情があるが、どの程度把握し対応しているのか伺う。

住民福祉部長 組が設置したゴミステーションは諸経費の負担や当番等の義務があるため、組に加入しない方がいることを認識している。消防団は任意加入の団体であるため、入らない方が多くなっている。各分団で個別に勧誘をしているが苦慮している状況である。

総務部長 地域のしきりも地区ごとに全く異

なり、現状の把握は困難である。村内には転入者が地域役員を担ったり伝統行事に参加されたりする事例もある。各地区で温かく迎えることが、地域の自主性につながると考えている。

産業建設部長 野焼きや堆肥散布に関して規制はないが、揚煙行為を行う際には消防署への連絡をお願いしている。また、公道を走行する場合は道路交通法の遵守や泥払い等の注意喚起を行っている。引き続き住民の理解を得られるよう周知に努めていく。

めていく。

斎藤 広報等で移住者や既存の住民の特集を組み、双方の悩みを共有する仕組みができないか。

総務部長 取り入れられることがあれば今後十分に検討していく。

斎藤 SNSやホームページの活用は、情報共有の手段として大変有効である。隣組の活動やよくある質問のページを作り、SNSでシェアしてもらい若い世代にも気軽にリアルタイムで情報共有ができる仕組みを構築できないか。

総務部長 電話やメー

ルで相談や問い合わせがあった場合、担当部署からそれぞれに回答している。相互の情報共有の仕組みがSNSやホームページで取り入れられるか検討していきたい。

斎藤 コミュニティ支援について何が必要と考えているか。

村長 策定に向け進めている第五次大玉村総合振興計画の中で、生活や子育て等の悩みに対応する場所を確保するため、大山公民館に代わる住民交流センターを組み込めないか考えている。



本宮市ホームページに掲載されている「移住者の声」



子育て支援のさらなる充実を求める

質問趣旨

村の宝である子どもたちへの支援を、より充実させていく施策について伺う。



さくらカフェに集う親子

武田 第2子からの保育所保育料無料化が行われているが第1子から支援できないか。

村長 子どもが1人の世帯にとつては子育て支援の恩恵を受けないことになってしまう。第1子からの減免を次年度から実施できればと考えている。

武田 保育所では園舎増築により園庭がかなり狭くなっている。また、駐車場も狭く朝は渋滞も起きている。子どもたちの遊び場と駐車場の確保は喫緊の課題ではないか。考えを伺う。

村長 園庭・駐車場とも拡張の必要性は十分に認識しており、内部での検討も始めている。

武田 親子の居場所づくりや情報交換、相談援助の場として大きな役割を果たしているさくらカフェだが、現在の大山公民館では狭く、子どもたちが十分に遊べない状況にある。もっと広い場所で開催できないか。

村長 今すぐに広い場所へ移るということは難しい。今後、既存施設の整理を進めていき、新たな場所の確保ができるか検討したい。

高齢者が安心して暮らせる支援の充実を 質問趣旨 住み慣れた地域で安心して暮らすための支援について伺う。

武田 令和3年は介護保険が改定される年に当たる。介護報酬が上がれば利用者の自己負担も増え、使いやすい制度とはいえない。制度そのものの問題だと思いが、考えを伺う。

村長 介護を必要とする人にとっては大切な制度である。国としても制度設計の見直しが必要ではないかと思う。

武田 在宅で介護保険を利用し生活する方に、介護用品購入助成事業が行われている。大玉村では要介護4と5の方しか利用できないが、他の自治体では要介護1から利用できる。村でも補助を広げられないか。また、購入できる事業所を増やせないか伺う。

村長 他の自治体を調査し検討したい。

住民福祉部長 要望を聞きながら事業所を増や

していきたい。

武田 年齢を重ねても元気に暮らしていくためには健康が第一であり、病気の早期発見早期治療が重要と考える。人間ドックの対象年齢を75歳までにできないか。また今年度はインフルエンザワクチンを65歳以上は無料で接種できたが、今後

も新型コロナウイルス感染症の影響なども考えると、同様の支援が必要だと思う。考えを伺う。

住民福祉部長 人間ドックは国の方針で対象年齢の引き下げが行われたが、村は70歳に引き上げた経過もあり、今後も検討したい。インフルエンザワクチンの補助についても検討していきたい。

新版 よくわかる 介護保険 サービスの利用まで

どんなサービスが利用できるの？

サービスの利用のしかたは？

申請はどうすればいいの？

サービスを利用したときの負担は？

他に次の質問がありました。
・新型コロナウイルス感染症対策と今後の支援は

鈴木 康 広 議員



学校でのコロナ感染症対策を問う

質問趣旨

学校での新型コロナウイルス感染症対策が教職員の多忙化の要因になってはいないか。



教職員が行う消毒

鈴木 公費で行っているトイレの清掃は、誰がいつどのような方法で行っているか。その費用はいくらか。

教育部長 幼稚園や小

中学校では、9月25日から清掃業者が、週に2回から3回清掃している。委託費は9月分が約17万円、10月分は約77万円である。

鈴木 その他にも消毒や清掃を行っているか。

教育部長 消毒や清掃は文部科学省の衛生管理マニュアルに沿って実施している。

鈴木 教職員が子どもたちと向き合う時間を確保することは重要である。費用を減らすため、会計年度任用職員による消毒や清掃をできないかどう

教育部長 現在、委託業者が3、4人で生徒児童の利用がない時間に清掃を行っている。新たに実施体制を整えるには4、5人の雇用が必要であり、費用面だけを優先して考えるのは困難である。

修学旅行などの実施状況は

質問趣旨

友だちとの大切な思い出ができる修学旅行の実施はできたか。学校での部活など課外活動はどのような状況か。

鈴木 修学旅行の実施状況は。

教育部長 中学校はコー

スと時期を変更し10月に2泊3日で日光と那須に、小学校は9月に1泊2日で会津方面に、感染症対策を講じながら実施した。

鈴木 部活動は教育の中でも大切なものである。大会の参加状況は。

教育部長 運動部は県北大大会、県大会、全国大会とも中止になった。かわりに安達地区では3年生を対象に中学校運動部活動交流会を実施した。新人戦は無観客で、実施することができた。吹奏楽部は録画で審査をする日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校S部門で最優秀賞という結果を残した。

鈴木 来年度の学校活動はコロナ以前の状況に戻るか。

教育部長 コロナ収束の見通しはないが、今年度の経験を生かしながら、従前どおりの計画を立てている。

鈴木 国際交流が困難な状況が続くなか、台湾

の姉妹校とオンライン交流は検討できないか。

教育部長 オンラインでの交流は有効な方法だと考えている。本年度末までに子どもたちに1人1台のタブレットが利用できるような環境を整えている。姉妹校と交流が実現できるように努めたい。



安達地区中学校運動部活動交流会（7月21日）



村指定文化財の管理は

質問趣旨

村文化財の管理や周辺環境整備について。



十楽院

本多 十楽院の鉄造観音菩薩立像の管理状況を伺う。

教育部長 平成22年3月に4区の区長より教育委員会に寄託され、同年4月よりあだたらふるさとホールで管理し、展示・公開をしている。

本多 文化財周辺の杉や竹林の管理を教育委員会が行えないか伺う。

教育部長 文化財の指定地内にある杉や竹林の管理は、基本的に所有者が行う事と認識している。

本多 杉や竹が村道にはみ出し、危険な状態になっている。高所で危険

を伴う作業は氏子だけではできない。村が手助けをできないか伺う。

教育部長 文化財へ影響が及ぶ場合は、所有者や保存会等と協議して必要な対策を検討する。

本多 二子塚古墳の木々により農地被害が発生している。現在の管理状況を伺う。

教育部長 毎年、地区の代表者と保存管理の委託契約を結び、地区の方に適切な管理をしていただいている。倒木等が発生した場合、改めて所有者等と協議し、必要な対策を講じている。

竹ノ内板倉線の道路拡幅計画の考えは

質問趣旨

下長峰地区の生活道路拡幅計画の考えを伺う。

本多 拡幅計画の見通しを伺う。

産業建設部長 平成28年に陳情があった下長峰

地区内約120区間の拡幅要望と認識している。村内の住宅地における狭隘道路や整備を要する路線箇所が多数あり、現時点において明確な見通しを提示する事は困難である。有効な財源措置や費用対効果なども含め、慎重に検討していきたい。

本多 弓張川と安達太良川の合流地点の状況では、水位が上昇すると農地に被害が出るのは明確である。改良の考えを伺う。

産業建設部長 道路直下で河川が直角に曲がっており、大雨時は越水による被害が出ていることを認識している。村道の改修も含め十分に検討していきたい。

本多 合流地点の下流に木々が生え土砂が積もり、流れの妨げになっている。村では、県をはじめとした関係機関に要望をしているのか。

産業建設部長 1級河川の土砂蓄積の撤去は県の管理であり、土砂払いについても要望している。状況を確認し、改めて県に要望したい。



改良が待たれる竹ノ内板倉線

須藤軍蔵議員



原発汚染水の海洋放出について

質問趣旨

原発事故から間もなく10年。漁業の復興も道半ばの中、汚染水の海洋放出はさらなる傷みを押し付けるものだ。

須藤

原発事故から間もなく10年。福島県産品は今も安価だ。漁業はもつとひどい。事故でたまり続ける汚染水を「希釈して海洋放出が現実的」と国は言う。10月末で県議会と県内市町村の7割に当たる41の議会が国に対し、海洋放出に反対や慎重な対応を求める意見書を挙げています。福島県民にさらなる傷みを押しつけ続けることになる。これらに対し村長の見解を伺う。

村長

大変難しい問題である。漁業組合が反対しているのは、10年にわ



増え続ける汚染水

たり試験操業を繰り返して完全操業ができる段階までできた中で、トリチウムを含む汚染水が海洋放出されれば、間違いなく風評被害が出るのは分かっており、10年の努力が無になるからである。希釈ではなく取り除く方法が見つからないものかと望むところである。対策をしっかりと講じないうちは汚染水の海洋放出をしてはならないという、大玉村議会が国に提出した意見書と意を同じくする。

美しい村の治山・治水について

質問趣旨

水源に近い場所での養魚場や畜産農場等の事業活動はさまざまな課題を生じさせた。そこから導き出す答えを伺う。

須藤

公図上、雨ヶ沢川は個人所有の土地で途切れているが問題はないのか。

産業建設部長

公図上、雨ヶ沢の水路が途切れていることは認識している。現在の施設の経営者が廃業後に、底地の所有者も含めて話し合い、水路の適正確保に向けて努力をしていきたい。

須藤 水源に近い場所に施設をつくる場合、事業開始の許認可は県であるが、村でも同意など重要な役割がある。これまでの安易な対応からの教訓を伺う。

須藤

公図上で途切れている場所は元々村の土地である。その土地で養魚場をやりたいということとで村有地を売却し、土地改良区と雨ヶ沢の水を使うという契約を交わした。土地を個人に売却し

村長

たことで、結果的にその川筋が公図上で途切れてしまった。今回を機に、河川を明示する方向で検討していきたい。

村長

総合振興計画や都市計画、国土利用計画でも、山間部は自然環境を保全する地域として開発を避けるといふ位置づけをしている。村としては、保全すべき自然環境と水源涵養の地域として守っていきたい。



ふるさとの水環境の保全を

アットホームおおたまや直売所等の経営状況を伺う

質問趣旨

コロナ禍で、指定管理運営施設の経営状況が懸念される。現時点での実態は。



松本 直売所とお食事処たまちゃんの売り上げは。

産業課長 10月末現在で直売所が約1億4800万円、お食事処たまちゃんが約1600万円である。

松本 これら2施設の収支状況について伺う。
産業課長 10月末現在で約900万円の黒字である。

松本 アットホームおおたまの収支状況について伺う。

産業建設部長 10月末現在で、収入が約2391万円、支出が約4463万円である。約2072万円の支出超過である。コロナ禍により、キャンセルや休業対策によって大幅な減収となったためである。



お食事処たまちゃん

この支出超過については基本協定に基づき、指定管理料の変更を申し出ることができるところから、村と村づくり株式会社が見込み、指定管理料の増額として2500万円の予算を計上した。なお、指定管理料増額の財源は地方創生臨時交付金を充当する考えである。

村長 村としては、経営上の問題ではなく新型コロナウイルスによる不測の事態によって生じた収入不足と考えている。今回は国の補助金が活用できるので、それを充当する予定である。

イノシシ被害対策の実態を伺う

質問趣旨

イノシシ被害は後を絶たない状況にある。被害防止策を伺う。

松本 村で行っているイノシシ被害対策事業を伺う。

産業課長 電気柵、ワイヤーメッシュ柵の設置、狩猟用わな免許取得、猟銃資格取得、猟銃購入、わな購入、資格更新の補助がある。今年度はICTを活用したイノシシ被害防止総合対策実証事業に取り組んでいる。

松本 今年度のわな資格受験者数と資格取得者数及び村が助成した人数を伺う。

産業課長 役場を通じた受験者数は6名であり、3名から合格の報告を受けた。個人で受験した2名の方から合格の報告を受けた。合格者5名に経費助成の予定である。

松本 資格取得後の活動状況について伺う。

産業建設部長 資格取得後は猟友会に加入していただくことになる。新

規加入者に研修会でわなの設置などの講習を行い、猟友会の中で活動していただく考えである。今後、くくりわなを200個購入し、猟友会に貸し出す。一斉に捕獲する期間を設けるなど、被害防止対策に取り組んでいきたい。

松本 資格取得者がわなで捕獲したが、猟銃を所持していない場合は、どのような手順で対応するのか。

産業建設部長 猟銃を所持していない方が捕獲した場合は、猟銃を持った猟友会や実施隊に連絡をとり、とどめを刺してもらうことになる。役場産業課にも連絡を入れてもらい、職員も捕獲現場に向く。解体後はともみやクリーンセンターに搬入し処分する。



捕獲されたイノシシ



村の林業をSDGsから考える

質問趣旨

持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組みにおいて、村内の森林管理の現状を問う。

菊地 村内の森林面積はどれくらいあるか伺う。

産業課長 本村の森林面積は、2015年の農林業センサスによると4620haである。

菊地 村内には国有林と県民の森フォレストパークなどの森林関連施設がある。面積を伺う。

産業課長 村内の国有林の面積は2752haである。県民の森フォレストパークあたたらは、オートキャンプ場や森林館などの施設が整備されている。全体の面積は91.5haで、その中のオートキャンプ場の面積は39.4haである。

菊地 林野庁関東森林管理局福島森林管理署玉井森林事務所の役割は何か。

産業建設部長 森林官という職員が駐在している。業務内容は国有林の整備、治山工事、森林及び作業道の開設、管理経営方針を立てることである。

菊地 村内には林業従事者と森林組合の従事者は何人いるか。

産業課長 林業従事者数は20名、県北森林組合従事者が2名である。

菊地 村内産建築資材の利用はどのように考えているか。

産業建設部長 県では県内産の木材を使った住宅建築にポイント交付などの優遇措置の取り組みがある。村ではこれらの利用を促進していく考えである。

菊地 林業の村の方針を伺う。

村長 農業振興公社の計画の中に農業・畜産・林業という形で林業を位置づけた。その中で将来的に村の林業も考えていきたい。



木材の利活用は

パソコンの授業で教育はどう変わるのか

質問趣旨

ICTの導入で教育現場はどのような対応が求められるのか。

菊地 子どもたちにとってのメリットとデメリットは何か。

教育長 メリットはパソコンやタブレットを使って情報活用能力を育成できることである。適切に得た情報を整理し、分析して、情報を発信する力を身に付けることができる。一方で、長時間の使用やトラブルに巻き込まれることが心配される。適切な使用方法の指導と家庭との連携が必要になると考える。

菊地 教える側のメリットとデメリットを伺う。

教育長 メリットはICTを使うことにより、授業の幅を広げていくことができることである。一方で、教職員の活用能力に個人差があることから、今後研修を実施し、ICT支援員の配置も検討していきたい。

菊地 これからの教師は子どもたちにとってどのような存在になっていくか。また、教師の心構えとして大切なことは何か。

教育長 教育界でよく使う言葉に「不易と流行」という言葉がある。不易というのは時代を超

えて変わらない価値があるものであり、流行とは時代の変化とともに変えていく必要のあるものである。情報活用能力がまさに今の流行の部分である。教師と子どもたちが高めあうことが変わらぬもの、不易のものである。



教職員 ICT 活用研修会 (12月16日)

常任委員会が取り組む調査

10月20日に常任委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

調査した内容は、次のとおりです。今後も適正かつ効果的な事業執行を引き続き調査検証していきます。

総務文教常任委員会

調査項目

- ① デマンドタクシー等所管する公共交通体系の改善策について
- ② 第5次総合振興計画策定の進捗状況について
- ③ 本揃田植え踊りや神原田神社十二神楽の小学生への継承事業の取組状況について
- ④ コミュニティ・スクール関連事業の執行状況について
- ⑤ 地域おこし協力隊の活動内容について

問 デマンドタクシーの運行区間を拡大する考えはあるか。

答 運行区間を拡大するには利害関係者の理解を得る必要があることと利用者が多数いることが前提となる。利用者の声を聞きながら状況により善処していきたい。

問

第五次総合振興計画の策定にあたり、今後も若い世代の意見を聴くことはできないか。

答

グループインタビューを実施し、若年層の意見を聴いた。今後の参集については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみながら検討したい。

問

本揃田植え踊りや神原田神社十二神楽の小学生への継承事業は、「日本で最も美しい村」連合など村外からの評価も高い。村として後継者育成支援の考えはあるか。

答

子どもたちには後継者として期待したいところであるが伝統文化の域を超えられない。



大山小4年生による神原田神社十二神楽

問

地域おこし協力隊の任期終了後の村との関わり方はどのようになるのか。

答

退任後も都市住民と村を結ぶ活動を引き続き行っていただけと考えている。隊員が編集に携わった「おおたま学」を活用した事業を進めていくうえでも、協力していただきたいと考えている。

産業厚生常任委員会

調査項目

- ① 健康長寿の村づくりのために各種健康事業の推進、特に元気づくりシステム等について、地域の実情に合った取り組みと指導者の育成に努めること。
- ② 除染事業及び悪臭防止対策事業において、住民が安全で安心して暮らせる環境整備を進めること。
- ③ 中山間地域等直接支払交付金事業及び多面的機能支払交付金事業の広域化に向け、関係機関と協議を深めながら取り組むこと。
- ④ 米の抽出検査への移行及び水稻卒カリによる生産者の不安払拭に向けたさまざまな農業支援を行うこと。

問

元気づくりシステムでは、活動開始から6カ月を経過すると役場職員のコーディネーターにより開催していたものを、「元気づりダー」が担うことになる。スムーズに移行できる見込みなのか。

答

特に難しいとの話はない。参加者も徐々に運動内容を覚えていっているので順調にいくとみている。

問 小高倉地区の環境問題について、事業者に強い行政指導は行えないか。

答 県による勧告や命令、罰金が可能ではあるが、村としても今後も粘り強く対応していきたい。

問 多面的機能支払交付金事業の広域化に向け、対象農地の拡充を図るとしているがその内容や考えは。

答 今まで取り組みのない地域や、以前に活動し現在は終了している地域に、再度働きかけをしていく。ただし、対象が水田であり耕作放棄地は事業に該当しないことからあらかじめ除外・絞り込みを行い、補助金の返還が起らないようにしたい。



栲山三和会活動組織による水路保全

地域課題に取り組み

議会研修・議員勉強会

福島県町村議会議長会と大玉村議会主催の「地方自治研究交流セミナー」の第3回は11月13日に議場で開催しました。内容は次のとおりです。

地方自治研究交流セミナー第3回 11月13日(金)

過疎・中山間地域の活性化と地域づくりについて

福島大学行政政策学類 岩崎由美子 教授

中山間地域問題や住民主体の計画づくりを研究されている岩崎由美子教授から講演をいただきました。

イスコレ「アカリ」、山形県川西町の「NPO法人きらりよしじま」の例を挙げました。

飯舘村や西会津町、湯川村、国見町など県内の町村を研究調査されている岩崎教授の講演は次のとおりです。

また、近年の田園回帰時代の地域づくりでは、「関係人口」が注目されています。関係人口とは、定住人口や交流人口や観光人口でもなく、観光以上定住未満の地域に関わってくれる人々です。

「限界集落論」が登場してから10年以上経ちますが、農山村は存続し続けています。農山村の地域づくりとは、ないものねだりからあるものいかに、地元への自信と誇りを回復し、当事者意識を持つ人材をつくる取り組みです。若者の学びの場づくりとして「国見町ホ

福島の学生が弱まりつつある地域コミュニティをつないだ事例として湯川村の堂畑地区、国見町内谷地区、西会津町奥川地区を紹介しました。農村と都市の共生社会の構築には、移住定住・観光

政策に加え、関係人口の創出・拡大をもう一つの柱にすべきです。田園回帰のみでは過疎・中山間地域問題の解決は難しいのが現状です。地方消滅論で財政状況によって切り捨てられる地域が失われるのは文化、歴史、生活・生業上の技や知恵を含めたトータルな空間、地域のDNAの消滅です。中山間地域が有する「多面的機能」（山林や河川との近接性、生活様式、伝



岩崎由美子教授

議員勉強会 11月20日(金)

自治体の防災・減災対策と災害時の議会・議員の役割

議員勉強会 12月21日(月)

町村議会広報コンクール受賞優秀紙から学ぶ

今年度は東京で開催が予定されていた研修会の多くが中止となりましたが、全国町村議会議長会から研修の動画が配信されました。

大玉村議会では議員勉強会を開催し、研修の動画を見て全議員で情報や課題を共有し、意見交換をしています。



目指せ!! 健康長寿日本一おおたま

令和2年からはじまった「大玉村健康ポイント事業」は楽しみながら健康づくりに取り組みます。健康診断を受けたり、村の健康ポイント該当事業に参加したりすると健康ポイントがもらえます。1,000ポイントたまると、村の共通商品券1,000円分または満点さくらカード2枚と交換できます。今回は1,000ポイントを達成された皆さんの中から6名の方に、健康の秘訣を伺いました。



川越 義勝さん

卓球・プール・登山・ゴルフ・ウォーキングなど自分のためにを行っています。それでポイントをもたらるのはすごい。ベジチェックの結果は同じ食事をしているのに妻の方が自分より数値が高い。毎日酒を飲んでいるから低い数値なのかなあ（笑）。



遠藤 八重子さん

以前から歩いて歩数をチェックしていました。目標は1日1万歩です。買い物に行った時は遠くに駐車し歩くようにしています。たまったポイントで満点さくらカードをもらい、堆肥と交換しています。堆肥を畑に入れて育てた野菜をおいしく食べています。



黒澤 善一さん

1時間近く歩くと約6千歩になります。たまにコースを変えて歩いています。健康ポイントは、数字で示されるので目標が立てやすく、健康づくりの励みになっています。週2回、卓球でも体を動かしています。みんなで笑うことが元気の秘訣です。



柳田 恵美子さん

毎日歩いていますが、歩くようになって血圧が下がりました。膝の痛みもなくなりました。夫と2人で歩いています。夫から地域のことや道を教えてもらいながら歩くと会話が増えます。一緒に歩くのはいいですね。2人とも風邪はひきません。



柳田 克己さん

仕事をしていた頃から歩くことを始め、日記を兼ねて歩数を記録しています。今は歩いたところを住宅地図に色を塗り記録しています。ポイントをもらうために健康づくりをしているわけではないですが、やってきたことがポイントになるので励みになります。



高橋 光子さん

サロンやおおたま生き粋大学、健康診断にも参加してポイントをもらっています。いろんなことに参加して、みんなと顔をあわせ、話をして元気をもらっています。息子から病院と仲良くするより歩くことはもっといいと言われ、毎日歩いています。

議会広報編集特別委員会

- | | | | |
|------|---|----|----|
| 委員長 | ● | 佐原 | 百合 |
| 副委員長 | ● | 斎藤 | 信一 |
| 委員 | ● | 渡邊 | 啓子 |
| 委員 | ● | 菊地 | 厚徳 |
| 委員 | ● | 武田 | 悦子 |
| 委員 | ● | 押山 | 義則 |

新しい生活様式のもと、村の繁栄と村民に寄り添った議会の充実を目指し活動してまいります。
(押山 義則)

編集後記

2020年を漢字一文字で表す調査の結果、「変」「苦」「痛」「耐」「辛」と新型コロナウイルスを思い起こされるネガティブな意味合いの漢字が上位を占めました。小中学生が選んだ漢字は「密」でした。

新年を迎え、今年こそは「幸」「夢」「健」のようなポジティブな意味合いの文字が選ばれる年を期待したいと思います。